

平成 28 年度環境省 ESD 関連施策実施状況

環境省総合環境政策局環境教育推進室

環境省においては、発達段階に応じ、多様な場において ESD・環境教育の自発的な取組が促進されるよう、施策を展開。以下は主な例。

- 平成 28 年 4 月、東京青山に「ESD 活動支援センター」を開設。
- 環境省環境教育推進室ホームページにおいて、国、地方公共団体や民間企業等が作成・実施する ESD・環境教育関連教材・プログラム等を可能な範囲で集約し、一元的に提供。平成 28 年度においては、文部科学省の協力を得て、教育委員会、学校宛てにホームページの存在を周知。
- 全国 22 の環境教育拠点（動物園・水族館・市民公園・環境学習センター等）において、身近な地域コミュニティにおいて、ESD の視点を踏まえ、多様な主体が連携しながら、大人子どもの主体的・協働的な学びを促進するモデル事例を創出。
- 文部科学省との連携により、小中高の教員等を対象として、ESD の視点を踏まえた環境教育のカリキュラムデザイン力・実践力を向上させる研修会を実施。（平成 28 年 12 月～平成 29 年 1 月東京、大阪、福岡の 3 箇所、計 4 回開催）
- ESD の観点から、環境活動を行う高校生・大学生の社会参加を促進するため「全国ユース環境活動発表大会（平成 29 年 2 月 4 日、5 日、国連大学で開催）」を開催し、優良な活動を行う高校生等を表彰。
- 地球環境と企業経営の調和という観点から、産学官民のプラットフォームである「環境人材育成コンソーシアム」を活用して、大企業の CSR 担当者や中小企業経営者向けのセミナーを実施（CSR 担当者向け：平成 28 年 12 月東京で開催。中小企業経営者向け：平成 29 年 1 月に大阪、平成 29 年 2 月に福岡で開催）。また、優良な社員向け教育を行う企業を表彰。